2026年度
JICS NGO支援事業応募説明会

多文化共生事業（国内在住外国人支援）の助成金をご活用されませんか

申請をお考えの方への説明会を
実施いたします
皆さまのご参加をお待ちして
おります

活用しやすい
金額帯

助成金額
50万円
2団体

わかりやすい
応募手続きです

JICS
NGO
支援
詳細は
裏面へ

講演会

『国内在住外国人支援と助成金の活用』
木下　理仁(きのしたよしひと)氏
（東海大学国際学部　非常勤講師）

開催日　2026年5月21日(木)　18時半～19時半

実施方法　オンライン(Microsoft　Teams)

参加方法
参加ご希望の方は、 2026年5月18日（月）までに以下のQRコード
または、下記に記載のe-mailアドレス宛に、参加希望の旨を
ご連絡くださいますようお願いいたします。
ご連絡の際には、団体名および参加者名をご明記ください。
お申込みを確認後、参加用リンクをメールにてお送りいたします。

〒104-0053　東京都中央区晴海2-5-24晴海センタービル5階
一般財団法人日本国際協力システム　JICS NGO支援事務局
【e-mail】shienngo@jics.or.jp

申込みフォーム　→

JICS（ジックス）NGO支援事業のご案内
多文化共生事業（国内在住外国人支援）

◆◇JICS は調達専門機関◇◆
一般財団法人日本国際協力システム（JICS）は、主に、ODAの無償資金協力事業において、プロジェクトに必要な資機材や役務の調達、施設建設案件の実施監理、資金管理を行っています。

◆◇JICS NGO支援事業の特徴◇◆
国際協力の場で開発協力援助活動や開発途上国問題に対する啓発活動等の事業を行う団体に助成しています。（年間7～10団体/上限額1団体あたり100万円または160万円）
この中で、日本国内で活動する多文化共生事業（国内在住外国人支援）に対して、1団体あたり50万円を上限として2団体の活動事業に資金支援を行います。

多文化共生事業（国内在住外国人支援）

直接事業費

国内向けの啓発・
支援活動費など

支援上限額　50万円

・主に開発途上国または紛争地域を出自とする日本在住の外国人とその家族を対象とする人権保障、生活安全、労働環境、教育、災害、医療・保健サービスの活動に支援します。

・ステップアップ支援ミーティング
3か月目にオンラインで専門家による事業進捗確認を行います。また、希望があれば、6か月、9か月のタイミングで、事業進捗確認や団体活動に関する相談をオンラインベースで専門家へ行うことができ、団体活動の充実化に役立ちます。

任意団体可　/　支援金は前払い、事業完了後精算　/　活動報告会の実施

◆◇支援の対象団体は？◇◆
・2026年11月1日時点で団体発足後2年以上の活動実績（見込み）を有し、主たる事務所を日本に置いていること。（法人格の有無は不問。ただし、団体の適格性・信頼性の観点からは有することが望ましい。）
・過去1年間の年間総収入1,000万円未満の団体が対象。

◆◇応募（申請）と選考方法は？◇◆
書類選考のみです。外部専門家も含めた審査委員会を開催して支援団体を決定します。

応募に際してご不明点あれば、お気軽にお問い合わせください

4月下旬
案内開始

JICSホームページで申請要領と
申請書をダウンロード

7月下旬申請書
提出締切

書類審査・審査委員会
（9月～11月上旬）

決定
11月末頃

※詳細はJICSホームページでご確認ください。

〒104-0053　東京都中央区晴海2-5-24晴海センタービル5階
一般財団法人日本国際協力システム（JICS）
【e-mail】shienngo@jics.or.jp
TEL:03-6630-7870　FAX:03-3534-6811

Japan
International
Cooperation
System